

PRESTO® A40

6Lのガラス反応容器を
+20℃から+200℃まで加熱運転

目的

このケーススタディのテストでは、PRESTO® A40と6Lのガラス反応容器を接続して、加熱試験を行っています。PRESTO® A40 は2mのメタルチューブで接続されています。PRESTO® A40 は、+20℃から+200℃への加熱運転を行っています。



環境

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

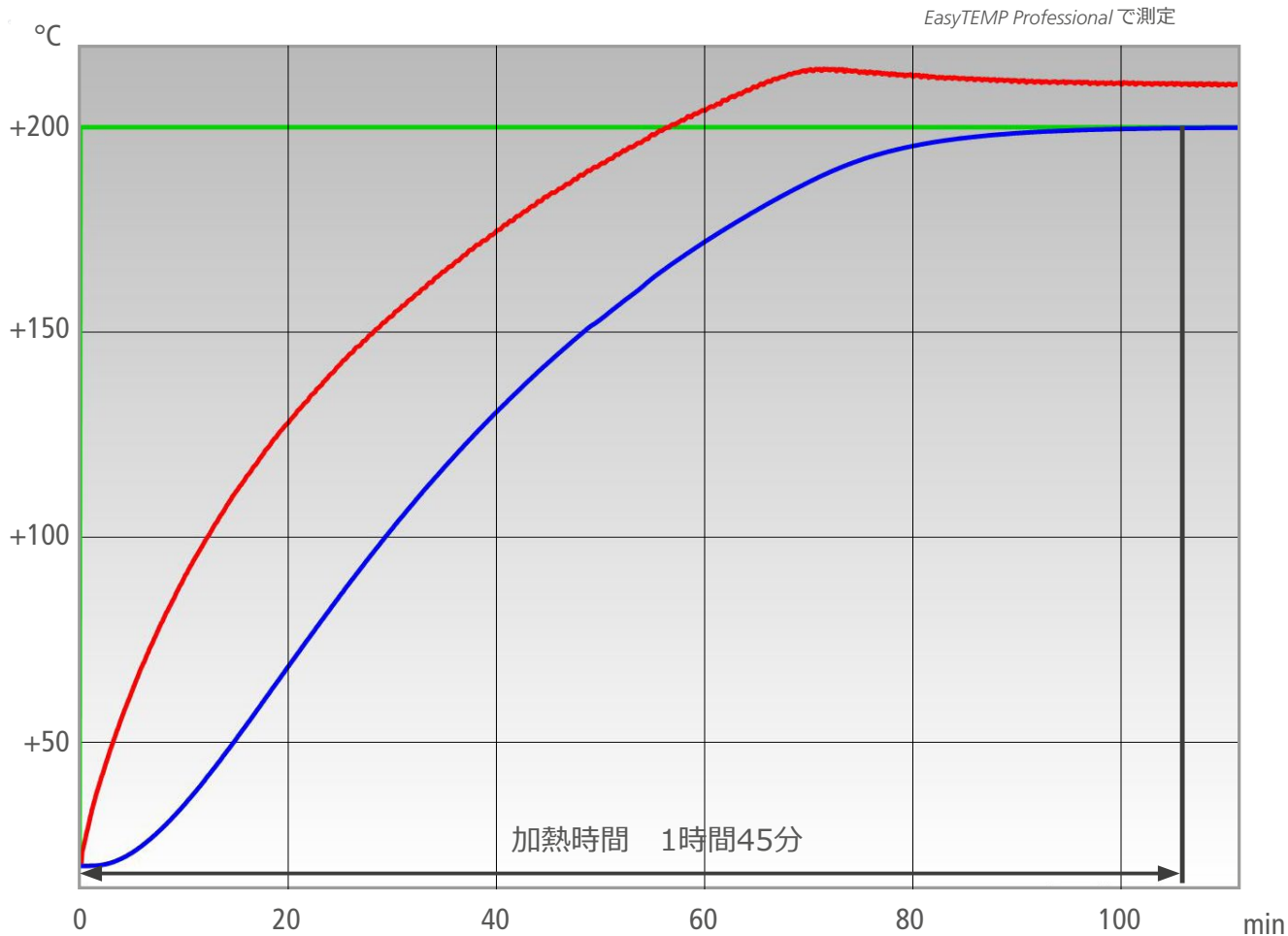
試験条件

使用機種	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL60
反応容器	6Lガラス製反応容器 (QVF) (容器内にはユラボ社製 サーマルHL60を5L充填しています)
ジャケット容量	4.5 L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果

PRESTO® A40の加熱運転では、+20℃から+200℃へ1時間45分でオーバーシュートなしで到達しました。



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能

無償版の EasyTEMP ソフトウェアを使用することにより、PCで装置をコントロールしたり温度データを画面上に表示させることが可能になります。

その他機能

容器的保護：“バンドリミット”機能（上記参照）で、容器内部温度とジャケットの温度差を制限して設定する事ができます。

Profile of reactor